

GRAZIE

“グラッツェ”

“グラッツェ”とはイタリア語で“ありがとう”の意味。陽気なラテン民族の言葉に倣って、素直に感謝の言葉を口にできる明るい場作りを、本学科は心がけています。

Ciao!

مرحبا

Hallo!

Hi!

Olá!

Salut!

您好



Active learningで Let's start!

国コミだけのオリジナル科目を

徹底研究

「コミュニケーション能力×考える力=国際人の育成」を目指す学科ならではの噂の授業、学生からの授業高評価ランキングで上位に躍り出るその中味は？

ピカピカの1年生☆



選択科目

異文化理解論I

例えば「アフリカフェ」（ガーナ語で「喜び」の意味）⇒「アフリカを題材にしたイベントを組み、異文化理解を深めるとともに、チームでの作業を通じて実用的なコミュニケーション能力を高めます」

例えば「グローバルな課題について討論」⇒「世界の貧困をテーマにチーム単位で論戦。ディベート（テーマに対して肯定派・否定派に分かれて討論）を通じて、複数のものの見方を養います」など、教科書から少し離れたところで「異文化」を噛み砕く訓練を行います。

必修科目

コミュニケーション外国語I

ネイティブ講師が教えるのは「実社会で使える英語」。身振り手振りゲーム的要素も加えた楽しいレッスンで、個々が英語でプレゼンできるレベルを目指します。高校でやってこなかったスピーキング：ディスカッション=2:1の内容で、レベルに応じたクラスに入れるので安心です。また中国語はゼロからスタートしますが、目指すのは英語と同じく「実用中国語」。会話力、作文力を中心に指導していきます。

基礎研究

大学でのアカデミックな学習技術を習得する入り口にあたる授業。チーム単位で、興味のある一つのテーマについて「調べる」→「レポートにまとめる」→「プレゼンする」。高校までの記憶型学習とは異なり、個々の「考える力」を養います。チーム単位での作業となるので、協調性が培われるのも特徴です。年に一度、全クラスが大集合してコンペが開かれます。テーマは「学内の部署探検」「学食をもっと良くするためのプレゼン」「18歳選挙についての意見を新聞に投書」など、生活&社会に深く関わっているものが多いです。

入学式+オリキャン(4月)



基礎研究発表(5月&7月)

1年生続々→

必修科目

コミュニケーション外国語Ⅱ

英語→TOIECの点数を5割上げていきます。
中国語→HSK4級合格を目標とします。



専門基礎研究Ⅰ

3・4年生でどの先生について勉強したいのかを決めるための、重要な科目。選り取りみどりで個性豊かな教員が揃う学科だからこそ、翌年からのキャンパスライフ残り2年間を何の研究に費やすか、それをどの教員と進めていくか。そのお試しをここでやります。前期と後期で2人の先生のゼミを取ることができ、多くの学生がそのどちらかの先生のゼミで残り2年を過ごします。(各教員の紹介は最終頁参照)



キャンパス
ライフにも慣れた
2年生☆



選択科目

異文化理解論Ⅱ

1年次「異文化理解論Ⅰ」を参照(前ページ)。

★ フィールドワークⅣ

1年次「フィールドワークⅠ」を参照。



就職作文
講座
(12月)

★ 留学Ⅱ

学科の提携校への単位交換留学は、規定の単位数を確保していれば、2年生から可能。4年生になると就職活動が始まるので、長期留学希望者のほとんどは2年生または3年生で行きます。留学経験者は振り返り報告を、これから留学に行く学生は事前学習という二者をドッキングしての授業は、現実味が満載です。

留学、
フィールド
ワーク、
イベント



★ 留学Ⅰ

自分がこれから行く先はどんなところ？ どのくらいの語学準備をしておけば良い？ そんな不安もすでに留学を終えた先輩が一発解消。同じクラスには既に留学を終えた先輩が同席、彼らの留学の振り返りがそのままこれから留学似チャレンジする学生への情報に代わるユニークな授業です。

★ フィールドワークⅠ

これぞ学科の顔ともいえる体験学習授業。企画→運営→遂行→反省&改善(理論→実践→振り返り)までをすべて学生が担い、「体感」から「何か」をつかみ取るという、「学び」を立体的に感じていたい人にぴったりの授業です。

【国内】

映像翻訳▶プロ翻訳家と共に映画に字幕をつけていきます。実際にUNHCR制作の映画字幕も学科で担当。一般に上映される日は喜びもひとしお。



【国外】(年度によって内容変更の可能性あり)

ザンジバル▶アフリカの島で地元民と触れないながら、固定観念をぶち破ります。



カンボジア▶現地のNPOとの活動を通して、世界の貧困の理由を追究。

サマースクール▶約30カ国からの海外ボランティアと一緒に、近隣の子ども達に英語を教える1週間。近年はここで英語を学んだ学生たちが逆の立場になりたいと学科に入ってくるケースも。学科生が教壇に立って中1から高1に英文法を教える「文法塾」もあり。



中国▶現地の大学生と共に、パワポで互いの文化に関する意見交換。



ペラルーシ▶英語が通じないところでのコミュニケーション方法を開拓。



ルーマニア▶現地の学生と一緒にルーマニアの地酒パリンカを売り出すためのプロモビデオを制作。



フィールド
ワーク、
イベント



オリキャン▶新一年生を学科に迎え入れるオリキャンの企画運営実施までを行います。



充実の
3年生☆



4年生へ続く→

必修
科目

専門研究1-2

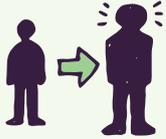
ここからが大学生活のいわゆるメインディッシュである“ゼミ”がスタート。自分が研究したいテーマを掘り下げ、少人数のゼミで進捗状況などを発表していきます。教員のアドバイスを仰ぎながら、自分が興味あるジャンルについて自己学習&研究を進めているのが醍醐味。それらは2年かけて卒論という集大成になっていきます。

選択
科目



コミュニケーション外国語

せっかく留学で得た語学力を落とさないようにという目的で、ネイティブと共に高度なレベルで行われるのがこの授業。使わないと忘れてしまう語学ですが、留学から戻ってきてこの授業で英語環境が用意されているので、留学当時の英語力を保ち続けることができます。



キャリア
センターによる
就職講座
(4月)



充実の3年生、
後半にはゼミ由来の以下の
ようなイベントが目白押し。
どのイベントに参加してみても、
刺激的なものになること、
間違いなしです。



★ アフリカフェ
(学内 菊地ゼミ)



大学の学食を借り切って、ゼミ生が学食を“アフリカ”にしてしまう一週間。ゼミ生が現地で習得してきたレシピで作った“ピラウ”そして現地から仕入れた豆で淹れた“コーヒー”を来場者に提供する他、アフリカに縁の深い人々を招聘して、ライブやディスカッションなどの企画&運営を行います

★ フェアトレードカフェ
(学内 毛利ゼミ)



同じく学食を借りてやるイベントですが、こちらは現地から調達してきたコーヒーにあえて価格をつけず、あえて消費者それぞれに価格をつけてもらうことによって、世界の経済への考えを深めてもらおうという企画。あぶり出されたデータにはたくさんの社会へ学びが入っています。

西南大学(中国)からの
FWの受け入れ
(学内&学外 趙ゼミ、張ゼミ)



こちらから先方に出向く企画もあれば、先方が学科にやってきてくれることもあります。その際にパーティーを催したり、観光案内をするのは、中国語を習っているゼミ生達。様々な交流を通して、中国へ行かずとも語学力アップが期待できるほか、自分が中国へ行く時に温かく迎え入れてもらえます。

シェイクスピア
カンパニー
(学内 住本ゼミ)



明星大学は、実は世界的にも貴重なシェイクスピアの資料2万点が所蔵されており、中には海外の研究者たちもわざわざ見に来るほどの400年前の初版本もあるほど。毎年シェイクスピアカンパニーによる観劇も行われているのですが、その企画に携わっているのがこちらのゼミの学科生。手伝いをしながら奥深い教養に触られます。



JCCP国際石油・ガス交流
機関からの研修生受け入れ
(学内&学外 田中ゼミ)



学科では海外提携校からの留学生も積極的に受け入れています。例えばその歓迎会。またはアテンド。留学生や研修生が日本で困ることのないようお世話をしあげられるのも学科生の役割。外の世界との距離がぐっと縮まります。

学科の “Active learning”は あなたの “血となり肉”と なっているのだ!



就活に舵を切る
4年生☆



就活
(3月~6月)



フィールド
ワーク

必修
科目



専門研究

ここが大学生活でのゼミ最後の年。2年めに入るののでよいよ卒業論文に向けての具体的な準備に入っていきます。

卒業論文

大学生生活の集大成ともいえるのがこの卒業論文。執筆はとても大変だけれどもここを乗り越えればもう卒業。新しいステージにへ、一気にエンジン全開!
3年生の時に選択したゼミを継続、教員の指導を受けながら、自分が設定したテーマの研究を完成させます。



選択
科目

必要単位さえ取ってしまっていれば、あとは好きなのをチョイスできます。

A コミュニケーション系

言語、SNSなど、現代には多種多様なコミュニケーションツールが溢れています。そのツールにまつわるあれやこれやを研究してみたいなら、ここ。

- 田中宏昌ゼミ【ビジネス・ディスコース分析】
- 張曉瑞ゼミ【社会言語学 ソーシャルメディア研究】
- 川又孝徳ゼミ【応用言語学】

B 文化研究系

文学、映像、アニメにCM……世には様々な文化作品がありますが、それらを掘り下げると、実に多種多様な人間そして社会が浮き彫りに。文化作品を通して世の中研究をしたい人に。

- 住本規子ゼミ【シェイクスピア研究】
- 高島美穂ゼミ【イギリス文化研究 比較文化・文学研究】
- 細谷等ゼミ【アメリカ文化研究、サブカルチャー研究】

C 語学研究系

言葉そのものの構造や意味、または言語とはなんぞや?という疑問を紐解いてみたい人の研究エリア。語学習得の近道研究もこちらです。

- 岩下俊治ゼミ【現代英語の統語論】
- 趙海城ゼミ【日本語習得研究、日中言語対照研究】
- 深田芳史ゼミ【応用言語学、語学学習動機】

D 異文化理解系

日本以外のもっと広い世界にフォーカスして、トピックを掘り下げたい人向け。世界を知ることが逆に足下の世界を、しては自分自身を見つめることにつながります。

- 菊地滋夫ゼミ【人類学、異文化理解、アフリカ研究】
- 毛利聡子ゼミ【国際関係学、市民社会論】

(各教員の専門ジャンル詳細は、学科の未来ノートをご覧ください)



卒論
発表会
(1月)



卒業式
(3月)



Wanted

学生編集スタッフ募集中!

将来マスコミの仕事をしたい人、またはイラストなどで自己表現をしたい人、記事を書きたい人など常時募集中。企画段階から実際に形にしていって、全てを自分で体験できるので、とてもやりがいがありますよ。積極的な参加をお待ちしています。

これは是非載せて欲しい!の記事&情報大募集

“GRAZIE”は、学生のみなさんと作っていくメディアです。より充実した内容にしていけるために、どんな些細なことでもネタをお待ちしています。

〔応募先〕 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1明星大学国際コミュニケーション学科
Tel 042-591-5329またはinfo-com@ealeal.meisei-u.ac.jpまで

「編集スタッフの眩き」

ボーッとしたままでも、いろんなことに挑戦し続けても、同じように過ぎていく時間。先輩方の話を聞けば、「とにかく後手後手にならないよう、先にいろんな目標を立ててそれに取り組むようにした方がいいよ」。どうう時間の使い方をするか4年後には大きく差がつくはず。■Y